

教誨師連盟だより

No. 51

発行所
(公財)全国教誨師連盟

〒165-0026
東京都中野区新井3-37-2
電話 03-3389-7411
FAX 03-3387-3460
E-mail: zenren@soleil.ocn.ne.jp

公益財団法人全国教誨師連盟理事会における挨拶

法務省矯正局長 小川 新一

公益財団法人全国教誨師連盟の第一四回理事会開催にあたりまして一言御挨拶を申し上げます。皆様方には平素から矯正行政に対しまして、深い御理解と御支援を賜っております。まずはこの場を借りて、御礼を申し上げます。また、連盟の運営につきましても、役員として一方ならぬ御尽力をされておられますことに、心から敬意を表します。

先ほど理事長からも御紹介がありましたけれども、昨年を振り返りますと、六月に新たな少年院法、少年鑑別所法が施行されました。少年施設において新しい体制がスタートしたわけであり、当然ながら宗教教誨の重要性についてはこれまでのおりいささかも変わるところはないとあります。宗教教誨は少年・成人の別を問わず、被収容者の信教の自由を保障するとともに、罪の意識に苦しむ被収容者の心を救い、ひいては彼らに更生の契機を与えることになることになり、教誨師の皆様の活動が、今後も重要な役割を果たしていくものと考えております。

本年は連盟発足六〇周年という非常に大きな節目の年と伺っております。先ほど理事長からもお話がありました。九月には記念大会も開かれるということで、連盟飛躍の年となるものと期待しております。本日の理事会におきましても、次年度の計画を含め、多くの重要な課題が話し合われると聞いておりますので、その成果が連盟の一層の発展に資するものとなりますことを願っております。

さて、矯正の最近の状況でございますけれども、先ほどお話がありましたように、法整備が一段落した状況でございます。再犯防止という非常に大きな目標に向かって、今年度も引き続き、着実に進めていきたいと考えています。本日現在、平成二八年度の予算が参議院で審議されておりますけれども、例えばその中でも矯正就労支援情報センターという新しい組織を作って、就労情報をもっとコーディネートしていくことも考えていますし、改善指導、職業訓練についても充実を図っていくつもりであります。

また、本年六月には刑の一部執行猶予制度がいよいよ施行されますので、保護との連携ということも大切になってくるわけであり、施設の中での改善指導についても力を尽くしていきたいと考えております。また、来年の話になりますけれども、八王子医療刑務所などが移転しまして、昭島に国際法務総合センターがいよいよオープンするということもありますので、いろいろな面でその調整も着実に進めていかなければいけないと考えております。教誨師の皆様におかれましては、引き続き御支援をいただきたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御活躍、並びに公益財団法人全国教誨師連盟の益々の御発展を祈念いたします。私の挨拶とさせていただきます。

平成二八年三月二日

＊平成二七年度事業報告

一 教誨師研修会関係

1 第五〇回教誨師中央研修会（JKA補助事業）

開催日 平成二七年九月二日～四日

場所 東京都千代田区 法務省地下棟大

会議室

参加者 総数 一二四名

教誨師一二〇名・矯正施設関係者

三名・その他関係者一名

目的

教誨師中央研修会が五〇回の節目を迎えるに当たり、当連盟の進むべき方向性の確認や教誨師としてのあるべき未来像を展望し、組織の発展・充実を図ることとしたい。

基調講演

「矯正の現状

」特に法改正との関係性を踏まえて」

法務省矯正局長 小川 新 二氏

講演

「公益法人とは

―その制度と役員等の役割・責任―」

公益財団法人公益法人協会

専務理事 鈴木 勝 治氏

講演

「公益財団法人としての全国教誨師連盟の

展望」

公益財団法人全国教誨師連盟

理事長 近藤 哲 城

協議会

「各都道府県における研修の現状」

総合司会

全国教誨師連盟企画委員 中村 昌之

発表者

札幌矯正管区教誨師連盟 松本 哲朗

仙台矯正管区教誨師連盟 島地 興霖

東京矯正管区教誨師連盟 高岡 精司

名古屋矯正管区教誨師連盟 川越 恒豊

大阪矯正管区教誨師連盟 高木 歆恒

広島矯正管区教誨師連盟 吉木 祥徳

高松矯正管区教誨師連盟 長谷川隆嶽

福岡矯正管区教誨師連盟 後藤 法龍

分科会

「各都道府県における研修の現状を踏まえて」

司会

全国教誨師連盟企画委員 中村 昌之

全体会

班別討議の結果について各班代表者による発表

司会

全国教誨師連盟副理事長 深山 祐

成果

今回の研修は、全国教誨師連盟が公益財団法人として公益性をどのように追求していくのか、加えて今後の進むべき方向性を確認するとともに当連盟の更なる組織の発展と充実を図ることを目的として、各都道府県の会長及び副会長等を対象に九一名の教誨師が三日間の研修を

行った。

基調講演では法務省矯正局長より、矯正施設の現状や改正された少年院法及び少年鑑別所法等について講演をいただいたことは誠に時宜を得たものであり、宗教教誨を通して、矯正施設に収容されている被収容者が自己と向き合い、再犯を犯さない心を育てる一助となればという思いを強くした。

講演においては、講師より公益法人の制度や役員として果たすべき役割や責任等の内容についての講演があり、今後の教誨活動に参考となるものであった。

分科会及び全体会では、各都道府県の教誨師研修活動状況等について討議が行われ、各都道府県の問題点や改善すべき事項等について活発な意見が出されていた。

今後の教誨活動のあり方や方向性等について考えを深めることができた。

2 第五一回札幌矯正管区教誨師研修大会（JKA補助事業）

K A補助事業）

開催日 平成二七年六月二四日～二五日

場所 帯広市 ホテル日航ノースランド

帯広

参加者 総数 九四名

教誨師四九名・矯正施設関係者

四〇名・その他関係者五名

主題 「希望へ！」

副題 「教誨の原点を見つめる」

目的

一人ひとりの命の輝きに触れ、広く社会全般に教誨活動の理解を求めることをめざし、人と人のつながりや社会と矯正施設との接点を創り出すようなあり方を探る。

記念講演

「帯広刑務所と十勝・帯広のかかわり」
元帯広市議会議員 嶺野 侑氏
研究発表

・「再犯できない人を作ること」

札幌刑務所教誨師会所属教誨師

藤井 照人

・「教誨の原点を見つめる」

千歳教誨師会所属教誨師 荒澤 道範

・「私の教誨活動」

函館少年刑務所教誨師会所属教誨師

水島 弘司

成果

記念講演を通して、北海道開拓史において刑事施設が担った役割を再確認するとともに、その中で教誨師の先人たちの強い使命感と苦勞を学ぶことで、教誨の原点について考える契機となった。

各施設の教誨師が積極的に意見交換を行い、教誨活動の反省点や充実した教誨活動のあり方について、広範にわたる意見を聴取することができた。

研究発表の質疑応答では、宗派の枠を超えた意見の交流が行われ、教誨活動の充実に資する討議が行われた。

本研修大会を通して、宗教教誨が矯正

3

施設における指導において担う役割を改めて考える機会となり、個々の教誨師が自己の担当する教誨のあり方を見つめ直し、教誨活動の発展に対する責任を再確認した。

第五七回仙台矯正管区教誨師研修岩手大会
(JK A補助事業)

開催日 平成二七年一〇月一五日～一六日

場所 盛岡市 メトロポリタン盛岡

参加者 ニューウイング

参加者 総数 一四二名

教誨師九二名・矯正施設関係者

三二名・その他関係者一八名

主 題 「希望へ！」

副 題 「自己を見つめ直し 自己改善を

促す宗教教誨」

目 的

仙台矯正管区教誨師連盟所属の教誨師

が一堂に会し、矯正施設における被収容

者の宗教による教化方策について研修・

討議する。

研究討議

討議題「自己を見つめ直し 自己改善を

促す宗教教誨」

発表者

青森県教誨師会所属教誨師 三浦 真介

秋田県教誨師会所属教誨師 飯野耕太郎

福島県教誨師会所属教誨師 亘理 正明

山形県教誨師会所属教誨師 新野 芳博

発表応援者

青森刑務所上席統括矯正処遇官

竹川 聡 嗣氏

秋田刑務所統括矯正処遇官

岡野 毅 氏

福島刑務所上席統括矯正処遇官

村尾 守康 氏

置賜学院主席専門官

熊谷 康之 氏

記念講演

「僕だって善人になりたい

〜生まれてきてくれてありがとう〜」

ノンフィクションライター

北村 年子 氏

成果

平成二四年七月に犯罪対策閣僚会議において「再犯防止に向けた総合対策」が策定され、また、平成二五年一二月には、「『世界一安全な日本』創造戦略」が閣

議決定されるなど、現在、国を挙げて犯罪や非行をさらに減少させ、国民の治安に対する信頼感の醸成に向けた取組みを推進しているところである。これを受けて、各矯正施設においても受刑者や非行

少年の再犯・再非行防止のために、更生意欲の喚起と社会生活に適応する能力の育成を図るべく、様々な教育・指導が展

開されているが、その対象となる彼らが自己を見つめ直し、自ら改善しようとする意識の前向きな姿勢を持ち合わせてこそ、効果的で実効力のあるものとなると考えられる。

このことから、本研修大会においては、

仙台矯正管区教誨師連盟に所属する教誨師と、仙台矯正管区内の矯正施設の関係者が一同に会し、大会テーマ「希望へー」、研究討議題「自己を見つめ直し自己改善を促す宗教教誨」の下で研修がなされた。

被收容者が、これまでの自分を客観的に見つめ直し、自ら改善へと進むためには、宗教的な働きかけが効果的で重要な意味を持つことについて論をまつことはないが、その具体的方策、内容、他の教育課程との連携等、多くの課題があり、一朝一夕に具体化されるものではない。しかし、教誨師がその役割を担うことは、矯正施設のみならず社会全体からの要請ともいえるものであり、矯正教育の根幹をなす部分ともいえるこの大きな課題について、社会からの負託に応えようとする各教誨師の積極的な姿勢が随所に見られる、充実した内容のある研修会であった。

4

第五九回東京矯正管区教誨師研修埼玉大会
(JKA補助事業)

開催日 平成二七年六月一八日～一九日

場所 さいたま市浦和区 浦和ロイヤル

パインズホテル

参加者 総数 三一五名

教誨師二二名・矯正施設関係者
八六名・その他関係者一七名

主 題 「希望へー」

副 題 「願いに耳を傾け、思いを伝える」

目的

被收容者の願いに耳を傾け、教誨師の思いを語り、被收容者が将来に希望を持つことができるような、より良い教誨の在り方を今後も模索する。

基調講演

「かたくなな心も開く」

コミュニケーション

カウンセリングオフィスうらら代表

富田 美佐緒 氏

記念講演

「当事者研究のススメ」

東京大学名誉教授 上野 千鶴子 氏

分科会(第一～一〇分科会)

座 長

川越少年刑務所所属教誨師

池田 常臣(浄土宗)

江田 昌弘(天台宗)

駒井 信亮(真言宗智山派)

中山 利信(天理教)

仁平 昭順(天台宗)

前原 利雄(神社本庁)

吉田 正臣(神社本庁)

建部 眞文(真宗大谷派)

西村 勉(神社本庁)

小寺 秀仁(真言宗智山派)

成 果

矯正施設における教誨師の活動は、被收容者の宗教的要求に応えながら、様々な問題を抱える彼らに寄り添い、その言葉に耳を傾け、心情の安定や改善更生に

5

第五九回名古屋矯正管区教誨師研修大会
(JKA補助事業)

開催日 平成二七年六月一日～二日

場所 福井市 ホテルフジタ福井

参加者 総数 一四一名

教誨師七七名・矯正施設関係者
五三名・その他一一名

主 題 「希望へー」

副 題 「心の通い合う教誨を探る」

目 的

私たち教誨師が原点に立ち返り、被收容者と同等の目線で接し、信頼関係を構築する中で、心の通い合う教誨を模索し、被收容者が自らの罪を自覚し、他を思いやる心を啓発出来るよう実効と希望ある教誨に努める。

基調講演

「発達障がい背景」

社会福祉法人るんびに苑理事長

藤 大慶 氏

記念講演

「揺れる心をつめて」

「現代社会と人間性」

公益財団法人松原病院代表理事

松原六郎氏
全体討議（パネルディスカッション）
座長

福井刑務所所属教誨師 牧野 豊丸
助言者
社会福祉法人るんびに苑理事長
藤 大慶氏

意見発表

・「ハワイでの経験をを通して」

金沢刑務所所属教誨師 細山 裕康

・「原点に立ち返る」

岡崎医療刑務所所属教誨師

小野 正信

・「心の通い合う教誨を探る」

名古屋刑務所所属教誨師 辻 良尚

・「片手に聖書、片手に教誨マニュアル」

豊ヶ丘学園所属教誨師 山田 幸男

成果

「希望へ」心の通い合う教誨を探る」をテーマとして、心の問題に光を当てる共に、基調講演、全体討議と一貫性を保ちつつ、記念講演において、新たな教誨師の心の通い合う方向性を見出せるような研修を行うことにより、今後の民間の篤志家である宗教家としての教誨師の位置づけを感じつつ、それぞれの宗教の教えに基づき、被収容者と共に語らい、心を通わせながら、宗教的情操が育てられることを期待するとともに、再犯防止に向けた取組を踏まえつつ教誨活動を続けていく概念を養成していくために、「心

の通い合う教誨」を目指して自己研さんを重ね、被収容者が改善更生の心を強くするよう、教誨活動をする者にとって大変意義深い大会であった。

6 第六三回大阪矯正管区教誨師研修大会

開催日 平成二七年一月一九日

場所 大阪市中央区 難波別院（南御堂）

参加者 同朋会館

参加者 総数 一九五名

教誨師一三三名・矯正施設関係者

三八名・その他二四名

主 題 「希望へ！」

副 題 「人は出遭いによって輝く。」

目 的

教誨師活動の研鑽と充実を目指して

シンポジウム（鼎談）

シンポジスト

アドラムキリスト教会牧師

野田 詠氏 氏

播磨社会復帰促進センター所属教誨師

森 康彦

大阪医療刑務所所属教誨師 墨林 浩

成果

サブテーマに沿った講師や教誨師をシンポジストとして選定し、鼎談の形式をとったことで、宗教的な立場に立ちつつも、リアルな体験談への理解を一層深めることができ、参加者全員で共有できたアンケート結果からも、参加教誨師にとっても刺激のある研修内容であったことが認められた。現在の社会復帰支援上

の課題の理解や教誨師として今後取り組みべき問題の発見にもつながった。以上のことから、本研修会の目的が達成できた。

7 第四二回広島矯正管区教誨師研修会（JRK

A補助事業）

開催日 平成二七年六月二五日

場所 広島市 アークホテル広島駅前

参加者 総数 一〇二名

教誨師六五名・矯正施設関係者

三七名

主 題 「希望へ！」

副 題 「成し遂げる力を育む教誨へ」

目 的

被収容者と共に希望をもって心豊かな人生を「成し遂げる力」が育まれる教誨

活動に資することを目的とする。

基調講演

「平山郁夫の画業―鎮魂と平和への祈り―」

平山郁夫美術館館長

平山 助成氏

講演

「新少年院法、少年鑑別所法の施行について」

て」

広島矯正管区第三部長

花原 明博氏

成果

研修テーマについては、ほとんどの研修員は、適切だったと評価している。研修成果については、「大いにあった」と評価している研修員は、半数以上で

あった。

研修会で得ることのできた教訓等について、「平和の大切さ」、「各宗教の一体的活動の大切さ」、「主題『希望へ』は我々教誨師・篤志面接委員が持ち続けなければならないこと」など、研修会で得ることができた。

8

第四二回高松矯正管区教誨師研修大会（JKA補助事業）

開催日 平成二七年七月七日～八日

場所 南国市 サザンシティホテル

参加者 総数 七二名

教誨師四〇名・矯正施設関係者二七名・その他五名

主題 「希望へ！」

副題 「誇りを回復する教誨をめざして」

目的

四国四県の教誨師と関係職員が一堂に会し、叶えられる未来・これから彼らにできることの意味を考え、効果的な教誨の在り方について考える。

基調講演

「地域での立ち直り支援

～信じ続ければ応えてくれる～」

福岡県協力雇用主会会長

野口義弘氏

分科会

・第一部会

協議題 「依存からの脱却について」

座長

高知刑務所所属教誨師 道願光三郎
助言者

徳島刑務所統括矯正処遇官

大野太資氏

高松刑務所統括矯正処遇官

渡邊泰介氏

・第二部会

協議題 「自立支援について」

座長

高知刑務所所属教誨師 福江 等

助言者

松山刑務所統括矯正処遇官

小西隆雄氏

松山学園統括専門官

大森正義氏

・報告

第一部会座長

高知刑務所所属教誨師 道願光三郎

第二部会座長

高知刑務所所属教誨師 福江 等

助言者

高松矯正管区成人矯正第二課長

坂本和総氏

成果

本研修大会は管内の教誨師が一堂に会し、教誨師の指導技術を向上させ、また、見識を深めるものとして重要かつ貴重な機会である。

本年度の研修大会においては、アンケートの回答等から満足度の高い研修大会であったことが伺われ、今度この成果

としての、充実した教誨活動がなされることで、被収容者一人一人の再犯・再非行の防止につながっていくことが期待できる。

今後も、教誨師の指導技術の向上及び研さんのため、研修大会を安定して継続的に開催できるよう努めていく必要がある。

9

第四一回福岡矯正管区教誨師研修佐世保大会（JKA補助事業）

開催日 平成二七年一〇月二七日～二八日

場所 佐世保市 レオプラザホテル佐世保

参加者

総数 一五七名

教誨師九三名・矯正施設関係者

五七名・その他七名

主題 「希望へ！」

副題 「こころをはぐくみ育てる宗教教誨」

目的

被収容者に対して、どのよういのかの重みを伝え、慈しみのこころを涵養させ、人としてのあり方を自覚し希望を持たせることが、教誨師の使命であり、困難な課題でもあることから、この研修大会を開催する。

記念講演

「現代の忘れもの」

学校法人ノートルダム清心学園理事長

渡辺和子氏

分科会

発表者

・「収容者に接する教誨師の心得について」
北九州医療刑務所所属教誨師

中村 潤一

・「宮崎刑務所教誨の現状について」

宮崎刑務所所属教誨師 黒木 源章

・「教誨という法縁をいただいて（一切衆生悉有仏性）」

佐賀少年刑務所所属教誨師 藤木 徳仁

・「寄り添う」

福岡刑務所所属教誨師 大庭 力

・「寄り添う友として」

熊本刑務所所属教誨師 金 聖孝

・「『おもい』を大切に」

佐世保刑務所所属教誨師 高木 龍法

・「少年、青年たちに問いかけつつけること」

福岡少年院所属教誨師 古屋 治雄

・「君は愛されるために生まれた人」

筑紫少女苑所属教誨師 金 美蘭

・「おかげさまに気付き、思いやり、に生きる。」

大分少年院所属教誨師 渡邊 円世

助言者

佐世保刑務所企画首席

桑原 一貴氏

佐世保刑務所教育統括

金子 慎一氏

佐世保学園教育統括

大漣 秀幸氏

成果

成果

成果

成果

成果

研修の成果は大きく、『現代の忘れもの』という記念講演は、研修に参加した者一同が感銘を受けた。また、大会テーマ「希望へ!」、副題「こころをはぐくみ育てる宗教教誨」に沿って、教誨活動により具体的にするために、主旨に沿った分科会で熱のこもった発表と質疑応答及び討議が行われ「こころいのち」を教誨活動を通じていかに大切であるかを考えさせられた。

二 連絡調整関係

1 宗団代表者との連絡協議会

開催日 平成二七年七月一日

場所 京都府京都市 西本願寺 伝道本部二階研修室一

出席者 総数 三七名

宗団代表者 一九宗団 二〇名

全国教誨師連盟 一七名

議事

ア 報告事項

○平成二六年度事業報告及び収支決算

報告

○平成二七年度事業計画及び収支予算

について

○第五〇回教誨師中央研修会について

○平成二六年度宗団賛助金収納状況について

について

○連盟創立六〇周年記念大会について

協議事項

○教誨師の推薦基準について

○その他当面の諸問題について
ウ 教宗団内における研修状況等について

2 第一六回在近京教宗団代表者との懇談会

開催日 平成二七年一〇月一四日

場所 東京都港区芝 東京グランドホテル（曹洞宗増信徒会館）

「芙蓉の間」

出席者 総数 二四名

宗団代表者 一一宗団 一五名

全国教誨師連盟 九名

話題

ア 事業報告について

イ 全国教誨師連盟の動向について

ウ 各教宗団の研修状況について

エ 各教宗団の資格付与について

オ 連盟創立六〇周年記念大会の教宗団

寄附金について

カ その他

3 第三回法務省矯正局との意見交換会

開催日 平成二七年一二月一八日

場所 東京都千代田区 法務省地下棟小会議室

出席者 総数 一七名

法務省矯正局 八名

全国教誨師連盟 九名

協議事項

ア 委員等旅費について

イ 教誨師の活動範囲の拡充について

ウ 女性教誨師の増加について

エ 全国教誨師連盟の外部理事・評議員

について

オ 褒章受章者数について

三 顕彰関係

生存者叙勲

六名

藍綬褒章

一名

全国教誨師連盟総裁表彰

二七名

法務大臣感謝状

二五名

日本宗教連盟理事長感謝状

一二名

の方々が表彰されました。御芳名は別掲のとおりです。

四 各種刊行物等の発行

1 教誨第五〇号「教誨師中央研修会記録」

平成二八年三月に発行し、会員及び関係機関に配布。国立国会図書館に納入。

2 教誨師連盟だよりNo.四九・五〇号

平成二七年七月及び一二月に発行し、会員及び関係機関に配布。

3 研修会の記録CD（平成二六年度分）

平成二七年九月に発行し、管区連盟等に配布。国立国会図書館に納入。

五 公益事業関係会議

1 企画委員会

開催日 平成二七年四月二四日

場所 東京都千代田区 法務省矯正局

一四階会議室

出席者 総数 一四名

議事

・第五〇回教誨師中央研修会の目的・対

象者・研修カリキュラム

2 企画実行委員会

開催日 平成二七年七月二四日

場所 東京都千代田区 法務省矯正局

一四階会議室

出席者 総数 二八名

議事

3 第五〇回教誨師中央研修会の役割分担
中央研修会協議会の打ち合わせ会

開催日 平成二七年九月二日

場所 東京都千代田区 法務省地下大会

議室

出席者 総数 一二名

議事

・中央研修会協議会の運営について

4 評価委員会

開催日 平成二七年九月八日

場所 東京都千代田区 法務省一階共用

応接室

出席者 総数 五名

議事

・第五〇回教誨師中央研修会の第一回目評価

5 教誨マニユアル作成準備委員会

(1) 第一六回 平成二七年四月三日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 総数 一五名

議事

・原稿の確認

・内容確認「少年編」「年表」

(2) 第一七回 平成二七年五月一日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 総数 一四名

議事

・内容確認「宗教教誨の歴史」「成人編」「篤志面接委員制度」「刑事裁判」「少年

審判」「コラム」

(3) 第一八回 平成二七年七月三日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一四名

議事

・項目別に分担したチェック内容の発表
確認「更生保護」「篤志面接」「刑事裁

判」「少年審判」

(4) 第一九回 平成二七年九月一八日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一二名

議事

・表記法の確認
・出版形態の確認

(5) 第二〇回 平成二七年一〇月一五日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一三名

議事

(6) 「矯正の概要」「年表」の原稿確認
第二一回 平成二七年一一月三〇日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一四名

議事

・検討の進捗状況の確認

・宗教の意義と目的、宗教教誨の歴史の

内容確認

(7) 第二二回 平成二七年二月一八日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一二名

議事

・内容確認「宗教教誨の歴史」「年表」

(8) 第二三回 平成二八年一月二八日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一一名

議事

・内容確認「宗教の実際 少年編」「全国

教誨師連盟」

(9) 第二四回 平成二八年二月二三日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一四名

議事

・内容確認「全国教誨師連盟」「成人矯

正における教誨」

1 第一二回理事会(常会)

日時 平成二七年五月一五日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一

会議室

出席者 総数 一八名

出席理事一一名・監事二名・参与

二名・事務局二名・オブザーバ

(矯正局)一名

議事

第一号議案 『平成二六年度事業報告及び

附属明細書の承認』の件

(承認事項)

第二号議案 『平成二六年度計算書類(貸

借対照表及び正味財産増減計算書)及び

附属明細書並びに財産目録の承認』の件

(承認事項)

第三号議案 『評議員会の日時及び場所並

びに目的である事項等』の件

(決議事項)

第四号議案 『個人賛助金の募金』の件

(決議事項)

報告事項

①平成二六年度の寄附募金結果について

②JKAからの補助金について

③その他

2 第五回評議員会

日時 平成二七年六月九日

場所 東京都千代田区 法務省矯正局第

一会議室(二〇階)

出席者 総数 二七名

出席評議員数一七名

欠席評議員数一〇名

その他の出席者

理事長・副理事長三名・監事二

名・参与一名・事務局二名・オブ

ザーバー(矯正局)一名

議事

第一号議案 『平成二六年度事業報告及び

附属明細書の承認』の件

(決議事項)

第二号議案 『平成二六年度計算書類及び

附属明細書並びに財産目録の承認』の件

(決議事項)

第三号議案 『役員等の選任・解任』の件

(決議事項)

報告事項

①平成二七年度事業計画について

②諸規程の制定について

③中央研修会について

④JKAからの補助金について

3 第一三回理事会(臨時会)

日時 平成二七年七月一日

場所 京都府京都市 西本願寺伝道本部

三階会議室六

出席者 総数 二〇名

西本願寺

大谷総裁

本多総務・楠社会部長

教誨師連盟

理事長・副理事長四名・参与一

名・理事七名・監事二名・事務

局二名

✳ 平成二七年度管理業務関係報告

一 会議関係

主要会議

議事（報告事項）

- ① 第五回評議員会の会議の状況について
- ② 副理事長の職務分担について
- ③ 個人賛助金の募金活動について
- ④ その他

4 第一四回理事会（常会）

日時 平成二八年三月二日

場所 東京都千代田区 法務省地下棟大

会議室

出席者 総数 二九名

出席理事一四名・欠席理事〇名

監事二名・参与二名・事務局二名

矯正局 小川局長 以下九名

決議事項

- ① 『平成二八年度事業計画書及び収支予算書の承認』の件
 - ② 『諸規程の改正』の件
- 報告事項
- ① 賛助寄附金検討委員会の会議状況について

② 教誨師マニユアル準備委員会に関する中間報告について

③ 教誨師研修全国大会・地方大会に関する報告

④ 内閣府立入検査の結果について

⑤ その他

その他の会議

1 監事会

日時 平成二七年四月二一日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一

会議室

出席者 総数 七名

竹岡郁雄監事・榎研治監事

近藤理事長・舎奈田・深山・石川

副理事長・龍田事務長

議事

・平成二六年度収支決算等及び業務の監査

総裁への業務報告

日時 平成二七年七月一日

場所 京都府京都市 西本願寺

出席者 総数 五名

大谷総裁・本多西本願寺総務・楠

西本願寺社会部長

近藤理事長・龍田事務長

主な報告事項

・平成二六年度事業計画及び収支予算書について

・平成二七年度事業報告及び収支計算書について

・全国教誨師連盟創立六〇周年記念大会について

・第五〇回教誨師中央研修会について

顧問会議

日時 平成二七年一月一六日

場所 東京都文京区 ホテル椿山荘

出席者 総数 一三名

但木顧問・沼田顧問

大谷総裁・理事長・副理事長四

名・参与二名・事務局一名

楠西本願寺社会部長・古澤仏教伝

道協会事務局長

議事

・全国教誨師連盟の動向報告

・全国教誨師連盟の現状報告

・全国教誨師連盟の今後の展望について

・その他

4 管区連盟事務局長会議

日時 平成二八年二月五日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一

会議室

出席者 総数 一六名

近藤理事長

深山・石川・山根副理事長

山田・平野参与

札幌管区連盟 天野 広輝

仙台管区連盟 徳力 賢隆

東京管区連盟 竹岡 郁雄

名古屋管区連盟 加藤 通幸

大阪管区連盟 岩崎 慶昭

広島管区連盟 高橋 哲

高松管区連盟 上野 忠昭

福岡管区連盟 川崎 文丸

事務局 龍田恒夫・佐藤 均

連絡・協議事項

・個人賛助金の募金について

・全国教誨師連盟の役員等の交代事務手続きについて

・研修会の開催状況について

・JKAの補助金について

・教誨師研修会テーマについて

・その他

研修会関係費用について

会議等の日程について

内閣府立入検査について

5 正・副理事長会議

(1) 第二二回 平成二七年四月二一日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 六名

議事

・本年度の中央研修会の内容について

(2) 第二三回 平成二七年六月九日

場所 東京都千代田区 法曹会館口

ビー

出席者 五名

議事

・評議員会の関係について

(3) 第二四回 平成二七年六月三〇日

場所 京都府京都市 西本願寺開法会

館

出席者 六名

議事

・全連の運営について

(4) 第二五回 平成二七年九月二八日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 六名

議事

・個人賛助金について

(5) 第二六回 平成二八年一月二〇日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 七名

議事

・諸規程について

・個人賛助金について

(6) 第二七回 平成二八年二月一七日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 七名

議事

・新年度の予算について

(7) 第二八回 平成二八年二月二六日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 七名

議事

・理事会の進行について

6 個人賛助金検討委員会

(1) 第一回 平成二七年一〇月六日

場所 東京都中野区 中野サンプラザ

研修室一一

出席者 一九名

議事

・個人賛助金をめぐる状況把握

(2) 第二回 平成二七年一二月二日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 一九名

議事

・委員長（議長）の選任

・個人賛助金に対する各委員の意見の集約

(3) 第三回 平成二八年一月二五日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 一七名

議事

・副委員長の選任

・個人賛助金を進めることについて

(4) 第四回 平成二八年三月一日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 一五名

議事

・個人賛助金の集め方等について

7 広報委員会

(1) 第一回 平成二七年四月一六日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 一一名

議事

・委員長の選任 現状把握

・広報の方向性について

(2) 第二回 平成二七年五月二〇日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 九名

議事

・広報の方向性について

(3) 第三回 平成二七年七月三日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会

議室

出席者 一〇名

議事

(4) 広報誌の作成について
第四回 平成二七年九月一七日
場所 東京都中野区 矯正会館四階会
議室

出席者 一二名
議事

・広報誌の作成について
・ポスターの作成について
第五回 平成二七年一〇月二八日
場所 東京都中野区 矯正会館四階会
議室

出席者 一〇名
議事

(6) 広報誌の作成の方針変更について
第六回 平成二七年一二月一六日
場所 東京都中野区 矯正会館四階会
議室

出席者 一二名
議事

・広報誌第一号の内容について
・広報誌第二号以降について
・ポスターについて
第七回 平成二八年一月二一日
場所 東京都中野区 矯正会館四階会
議室

出席者 一〇名
議事

・広報誌第一号の内容について
・広報誌第二号以降について
・ポスターについて

(8) 第八回 平成二八年二月一六日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会
議室

出席者 一〇名
議事

・広報誌第一号のタイトル等のデザイン
について
・広報誌第一号の原稿修正について
・広報用ポスターについて

二 各種行事等への出席等

1 平成二七年五月一五日 近藤理事長が法
務省大会議室で行われた、春の褒章伝達式に
参列した。

2 平成二七年七月一一日 平野参与、近藤
理事長が京都で行われた龍谷大学のシンポ
ジウムに出席した。

3 平成二七年八月四日 近藤理事長、舎奈
田副理事長、龍田事務長がムスリム協会へ行
き、教誨師希望の真意を確認した。

4 平成二七年一〇月一五日 近藤理事長が
仏教伝道会館で行われた仏教伝道文化賞受賞
式に参列した。

5 平成二七年一〇月二〇日 近藤理事長が
法務省大会議室で行われた、全国篤志面接委
員大会に参列した。

6 平成二七年一十一月一三日 近藤理事長が
法務省大会議室で行われた、秋の褒章伝達式
に参列した。

7 平成二七年一十一月二四日 近藤理事長、
龍田事務長が真宗大谷派報恩講に参拝した。

8 平成二七年一二月二七日 山田参与、平
野参与、近藤理事長、龍田事務長がホテル
ニューオータニで開催された仏教伝道協会創
立五〇周年記念式典に出席した。

9 平成二七年一二月四日 龍田事務長、佐
藤主事が東京管区連盟課題別研修会に参列し
た。

10 平成二八年一月五日 近藤理事長、舎奈
田副理事長、龍田事務長が矯正協会賀詞交換
会に出席した。

11 平成二八年一月六日 近藤理事長、舎奈
田副理事長、石川副理事長、山根副理事長、
龍田事務長が寄付募金活動の一環として経団
連等へ新年あいさつ回りを行った。

12 平成二八年一月一一日 近藤理事長が浄
土真宗本願寺派報恩講に参拝した。

13 平成二八年一月一十九日 近藤理事長が矯
正研修所で高等科研修生に対し教誨師活動に
関する講義を行った。

14 平成二八年二月四日 近藤理事長、龍田
事務長が、天理教本部において行われた教祖
一三〇年祭に参拝した。

15 平成二八年二月一六日 佐藤主事が、法
務省地下大会議室で開かれた「社会を明るく
する運動中央推進委員会」に出席した。

三 公益財団法人JK Aの競輪公益資金補助事業
関係

1 平成二七年四月一日 平成二七年度分補
助金額内示 三、三六四、〇〇〇円

2 平成二七年五月一九日 平成二七年度分

補助金交付申請書提出 三、三六四、〇〇〇円

3 平成二七年六月一日 平成二七年度分

補助金交付決定通知 三、三六四、〇〇〇円

4 平成二七年九月一日 平成二八年度分

補助金要望書提出 一四、七八八、〇〇〇円

5 平成二七年九月三〇日 平成二六年度分

補助金額確定通知 三、三六六、〇〇〇円

6 平成二七年度事業の状況に関する報告書提出

7 平成二七年一二月二四日 平成二七年度

分補助金精算払申請書提出

三、三六四、〇〇〇円

8 平成二八年二月一八日 平成二七年度分

補助金の入金 三、三六四、〇〇〇円

9 平成二八年三月四日 平成二七年度分補助事業の完了報告書提出

10 平成二八年三月一八日 平成二七年度分補助事業の補助金の額の確定通知

三、三六四、〇〇〇円

四 その他

1 平成二七年四月七日 内閣府に「理事の

辞任に伴う変更届」を電子申請により提出した。

2 平成二七年六月二三日 内閣府に平成

二六年度分の「事業報告等に係る提出書」を

電子申請により提出した。

3 平成二七年九月一日 内閣府に「理事

の退任・就任に伴う変更届」を電子申請によ

り提出した。

4 平成二七年一〇月二二日 内閣府係官二

名による立入検査を受ける。

近藤理事長、舎奈田・深山・石川・山根副

理事長、龍田事務長、佐藤主事が対応した。

5 平成二八年三月二八日 内閣府に平成

二八年度分の「事業計画等に係る提出書」を

電子申請により提出した。

＊平成二七年度受賞者御芳名

＊発生存者叙勲(六名)

川越 恒豊 曹 洞 宗 富山 刑務所

櫻井 宥祥 高野山真言宗 鳥取 刑務所

寺林 惇 真宗大谷派 大阪 拘置所

成田 了恵 浄土真宗本願寺派 川越少年刑務所

小林 哲朗 日 蓮 宗 松江 刑務所

松本 文秀 高野山真言宗 岡山 少年院

＊藍綬褒章(二一名)

自覚 昭道 曹 洞 宗 中津少年学院

鈴木 眞 日本基督教団 加古川 学園

堀 智仙 日 蓮 宗 笠松 刑務所

南 尚浩 在日大韓基督教會 岡山 刑務所

山名 義一 浄土真宗本願寺派 千葉 刑務所

門田 和明 真言宗豊山派 松山 刑務所

谷口 和男 プロテスタント(単立)

永江 憲昭 浄 土 宗 大阪 拘置所

橋立 秀文 曹 洞 宗 福岡 刑務所

華井井 究 真宗大谷派 栃木 刑務所

脇屋 好昭 真宗興正派 瀬戸 少年院

奈良少年院

＊全国教誨師連盟総裁表彰(二七名)

石川 厚信 浄 土 宗 札幌 刑務所

柏川 法潤 浄土真宗本願寺派 旭川 刑務所

岸 實瑩 浄土真宗本願寺派 山形 刑務所

岡 撰也 ウェスレアン・ホーリネス教団

英 元弘 曹 洞 宗 山形 刑務所

近藤 哲城 浄土真宗本願寺派 置 賜 学 院

谷津 良勝 カトリック 川越少年刑務所

喜通川社会復帰促進センター

寺内 照恒 真言宗智山派 府中 刑務所

遠藤 了義 日 蓮 宗 千葉 刑務所

和田 大雅 真言宗御室派 横浜 刑務所

三澤 宥智 真言宗智山派 松本少年刑務所

公文名 眞 浄土真宗本願寺派 富山 刑務所

野村 潔 日本聖公会 名古屋 拘置所

濱口 義昭 天 理 教 宮川医療少年院

加藤 光昭 浄 土 宗 福井 刑務所

松本 武三 カトリック 大阪 拘置所

本川 英暁 浄土真宗本願寺派 神戸 拘置所

後藤 進 カトリック 神戸 拘置所

藤井 亮俊 天 台 宗 播磨社会復帰促進センター

大北 哲也 高野山真言宗 松江 刑務所

杉山日出男 大 本 広島 刑務所

桑羽 隆慈 浄土真宗本願寺派

美称社会復帰促進センター

沖村 吟峰 臨濟宗天龍寺派 岩国 刑務所

黒田 道郎 日本基督教団 徳島 刑務所

道願光三郎 金光教 高知刑務所
 田中 英康 日蓮宗 佐賀少年刑務所
 砂野 元道 金光教 福岡少年院

※法務大臣感謝状(二五名)

内山 智洋 日蓮宗 帯広刑務所
 井澤 隆明 浄土宗 山形刑務所
 山谷 敬 神社本庁 青森刑務所
 松濤 孝佳 浄土宗 栃木刑務所
 伊佐 榮豊 真言宗智山派 多摩少年院
 加藤 泰裕 臨濟宗妙心寺派 八街少年院
 友田 達祐 浄土宗 静岡刑務所
 池田 賢勇 真宗大谷派

喜連川社会復帰促進センター

田代 弘興 真言宗豊山派 府中刑務所
 仲田 周雄 天台宗 茨城農芸学院
 鈴木源一郎 神社本庁 豊橋刑務支所
 法信 公照 真宗大谷派 名古屋拘留所
 延村 茂憲 神社本庁 金沢刑務所
 石原 和久 真宗大谷派 名古屋刑務所
 榎 研治 曹洞宗 名古屋刑務所
 治田 義行 真宗大谷派 滋賀刑務所
 寶來 正彦 神社本庁 大阪刑務所
 植村 悦雄 天理教 大阪拘留所
 奈良 重雄 臨濟宗妙心寺派 奈良少年刑務所
 小西 正弘 天理教 神戸刑務所
 橋本 信之 浄土宗 京都刑務所
 小川 恵眞 浄土真宗本願寺派 広島刑務所
 上杉 宣章 真宗大谷派 山口刑務所
 鳥取刑務所

土屋 榮巖 真言宗豊山派 松山刑務所
 大場 力 キリストの教会 福岡刑務所
 福岡拘留所

※日本宗教連盟理事長感謝状(一二名)

藤井 照人 真言宗智山派 札幌刑務所
 三浦 善詔 浄土真宗本願寺派 宮城刑務所
 河上 政信 日蓮宗 宮城刑務所
 畑 年 神社本庁 横須賀刑務支所
 富 祐彬 真宗大谷派 金沢刑務所
 長澤 普天 浄土宗 湖南学院
 藤原 宏昭 日本イエス・キリスト教団 京都刑務所

中桐 眞彦 金光教 神戸拘留所
 枝川 円陽 天台宗 岡山少年院
 黒田 道郎 日本基督教団 徳島刑務所
 永江 憲昭 浄土宗 福岡刑務所
 自覚 昭道 曹洞宗 福岡拘留所
 中津少年学院

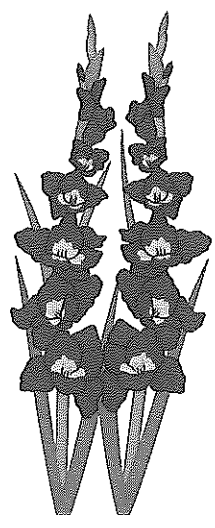
※平成二七年度物故者御芳名

謹んで哀悼の意を表します。

小島 不二 真言宗智山派 新潟刑務所
 宇都宮憲爾 大本 岡山刑務所
 疋田 英順 日蓮宗 広島刑務所
 田中 正晴 天理教 広島拘留所
 武内 英真 浄土真宗本願寺派 福岡刑務所

美祿社会復帰促進センター

大西 一平 神社本庁 福岡拘留所
 福嶋 法隆 浄土真宗本願寺派 加古川刑務所
 野村 潔 日本聖公会 鹿児島刑務所
 秦 康成 浄土真宗本願寺派 名古屋拘留所
 岩見 紀明 浄土真宗本願寺派 筑紫少女苑
 梅沢 一雄 曹洞宗 福井刑務所
 雨宮 代朔 日本聖公会 川越少年刑務所
 加藤 亮雄 天台宗 網走刑務所
 和田 智英 浄土真宗本願寺派 佐賀少年刑務所
 阿部 恵海 曹洞宗 佐世保学園
 内貴八郎右衛門 日本フリースト教団 甲府刑務所
 杉山日出男 大 本 神戸刑務所
 黒木 源章 日蓮宗 広島刑務所
 原 顕彰 日蓮宗 宮崎刑務所
 中屋 隆介 日蓮宗 函館少年刑務所
 全国教師連盟に報告のあった二〇名の方について掲載しました。



＊平成二七年度寄付者御芳名

(企業団体関係)

公益財団法人 仏教伝道協会 様

金壹百萬円也

公益財団法人 矯正協会 様

金壹百萬円也

石油連盟 様

金壹拾五萬円也

一般社団法人 全国銀行協会 様

金壹拾萬円也

一般社団法人 日本建設業連合会 様

金壹拾萬円也

一般社団法人 全国地方銀行協会 様

金五萬円也

日本証券業協会 様

金五萬円也

日本鉱業協会 様

金五萬円也

一般社団法人 信託協会 様

金五萬円也

一般社団法人 日本貿易会 様

金壹拾八萬円也

阪和興業 株式会社 様

金壹萬円也

長瀬産業 株式会社 様

金壹萬円也

日鉄住金物産 株式会社 様

金壹萬円也

双 日 株式会社 様

金壹萬円也

C B C 株式会社 様

金壹萬円也

兼 松 株式会社 様

金壹萬円也

株式会社 日立ハイテクノロジーズ 様

金壹萬円也

蝶 理 株式会社 様

金壹萬円也

三井物産 株式会社 様

金壹萬円也

興 和 株式会社 様

金壹萬円也

岩谷産業 株式会社 様

金壹萬円也

住友商事 株式会社 様

金壹萬円也

伊藤忠商事 株式会社 様

金壹萬円也

稲畑産業 株式会社 様

金壹萬円也

J F E 商事 株式会社 様

金壹萬円也

三菱商事 株式会社 様

金壹萬円也

豊田通商 株式会社 様

金壹萬円也

丸 紅 株式会社 様

金壹萬円也

一般社団法人 日本電機工業会 様

金壹拾六萬円也

三菱電機 株式会社 様

金五萬円也

パナソニック 株式会社 様

金五萬円也

富士電機 株式会社 様

金參萬円也

株式会社 東 芝 様

金參萬円也

日本製薬団体連合会 様

金五萬円也

武田薬品工業 株式会社 様

金五萬円也

東京商工会議所 様

金參拾參萬円也

株式会社 東京都民銀行 様

金參萬円也

株式会社 資生堂 様

金參萬円也

三井金屬鉱業 株式会社 様

金參萬円也

株式会社 三越伊勢丹ホールディングス 様

金參萬円也

株式会社 伊藤園 様

金參萬円也

株式会社 三井住友銀行 様

金參萬円也

住友林業 株式会社 様

金參萬円也

大崎電気工業 株式会社 様

金參萬円也

三菱商事 株式会社 様

金參萬円也

鹿島建設 株式会社 様

金參萬円也

本田技研工業 株式会社 様

金參萬円也

その他(故和田智英師葬儀に際し)

和 田 久 子 様

金壹拾萬円也

(個人賛助金)

千葉県 錦織春海 様

金五萬円也

千葉県 田中新太郎 様

金壹萬円也

愛知県 真宗大谷派光泉寺 様

金壹萬円也

鳥取県 櫻井宥祥 様

金壹萬円也

東京都 舎奈田経夫 様

金五萬円也

東京都 舎奈田経夫 様

金五萬円也

東京都 林光寺 様

金壹萬円也

広島県 山根由美子 様

金五万円也

広島県 山根 聡 様

金五万円也

千葉県 吉原健一 様

金五万円也

＊平成二八年度事業計画

一 教誨師研修事業

教誨師及び教誨師になろうとする宗教家を対象とし、教誨活動を充実発展させるために教誨師として必要な幅広い知識の蓄積と教誨技術の習得、向上を図るため、全ての教誨師等が均しく研修会に参加できるように中央研修会を行うとともに各矯正管区教誨師連盟(任意団体)に委託して毎年開催を変えながら全国八カ所の地方において能力開発のための研修を行う。なお、本年度は当連盟創立六〇周年にあたることから東京都において記念大会を開催する。

また、教誨師研修会に参加できなかった教誨師等に対しても同様の知識等の吸収を可能ならしめるため、教誨師中央研修会の状況を記録した機関誌「教誨」及び地方研修会を含めた記録を電子化した研修会記録CDを毎年一回、当連盟の活動状況及び主な教宗団における教誨師の

研修状況等を記載した機関紙「教誨師連盟だより」を年二回発行し、全ての教誨師、矯正施設、並びに多くの教宗団、その他に無料で頒布する。平成二四年度から、教誨活動に資するため「教誨マニュアル(改訂版)」を作成するための準備委員会を立ち上げ、準備を進めてきており、本年度に発行、無料頒布する。

日程 平成二八年六月二一日(火)～二二

日(水)

場所 岐阜県岐阜市

参加予定人員 七九名

6 第六四回大阪矯正管区教誨師研修大会(滋賀)

日程 平成二八年一月一八日(金)

場所 滋賀県大津市

参加予定人員 一六〇名

7 第二七回広島矯正管区教誨師研修大会(岡山県)

日程 平成二八年六月二〇日(月)～二二

日(火)

場所 岡山県岡山市

参加予定人員 一七〇名

8 平成二八年度高松矯正管区教誨師研修大会

日程 平成二八年六月二〇日(月)

場所 香川県高松市

参加予定人員 六九名

9 第四二回福岡矯正管区教誨師研修福岡大会

日程 平成二八年一月八日(火)～九日

日(水)

場所 福岡県福岡市

参加予定人員 一九五名

予算額 中央研修会

費用総額 二、一六五、〇〇〇円

参加費等収入 七〇〇、〇〇〇円

地方研修会(八カ所) 費用総額 二六、一九〇、〇〇〇円

補助金等収入 三、一〇〇、〇〇〇円

「教誨」誌

費用総額 一、五五〇、〇〇〇円

研修会記録CD

費用総額 一六〇、〇〇〇円

「教誨師連盟だより」

費用総額 八〇〇、〇〇〇円

「教誨マニュアル」作成準備委員会

費用総額 四、四三〇、〇〇〇円

二 教誨師顕彰等事業

長年多数回にわたり教誨活動に従事している教誨師を顕彰し、当人はもとより他の教誨師にも励みとなり、更に教誨活動に精励するよう鼓舞するとともに、矯正施設においてボランティアとしての教誨活動が被收容者等の改善更生への一助となっていることを広く社会に発信する事業である。本年度は連盟創立六〇周年記念教誨師大会において顕彰する。

費用総額 一、二八一、〇〇〇円

三 教誨活動等に関する情報収集等事業

より有意義な研修を計画し、また教誨師としてより有為な宗教家を推薦してもらうため、教誨師研修や教誨師選任に関して、教宗団代表者から情報を得、また関連事項の調整、並びに教誨活動の活発化等のための提言事業

教宗団の本部が集中している京都と東京で、情報交換等の協議会を行う。

費用総額 七〇〇、〇〇〇円

法務省矯正局との意見交換会

費用総額 六〇〇、〇〇〇円

1 第五一回教誨師中央研修会

日程 平成二八年八月三〇日(火)～三一日(水)

場所 東京都千代田区

参加予定人員 一一〇名

2 第五二回札幌矯正管区教誨師研修大会

日程 平成二八年六月七日(火)～八日(水)

場所 北海道旭川市

参加予定人員 一四〇名

3 第五八回仙台矯正管区教誨師研修福島大会

日程 平成二八年一〇月一三日(木)～一四日(金)

場所 福島県福島市

参加予定人員 一九五名

4 全国教誨師連盟創立六〇周年記念教誨師大会(第三六回全国教誨師大会)

日程 平成二八年九月六日(火)～七日(水)

場所 東京都新宿区

参加予定人員 六〇〇名

5 第六〇回名古屋矯正管区教誨師研修大会(永年教誨師研修大会)(岐阜・下呂)

四 教誨師選任事業

憲法の規定により国自体の宗教活動が禁止されていることから、教誨活動を行う教誨師を選ぶために、国は自ら宗教家と接触することができない。

国に代わり、全国の矯正施設が必要とする教誨師を選任するため関係する宗教団体と協議して有能な宗教家を推薦してもらい、あるいは教誨師を希望する宗教家に対してその資格を審査し、適切な矯正施設へ紹介する事業。ちなみに現在一、八六〇名の教誨師を擁し、その所属する教宗団は一〇〇を超えている。また、毎年一〇〇名近くの宗教家を新たに教誨師として委嘱している。

教誨師の選任が公正に行われていることを証するため、矯正施設別の所属教誨師名を記載した教誨師名簿を二年に一回発行し、全ての教誨師、矯正施設、並びに多くの教宗団、その他に無料で頒布している。

教誨師選任

費用総額

「全国教誨師会員名簿」(本年度は発行しない。)

共通経費

事業に要する費用額合計

○借入れによる資金調達及び設備投資の予定はない。

二〇〇,〇〇〇円
一七二,〇〇〇円
三八,二四八,〇〇〇円

貸借対照表

平成28年3月31日現在 (単位:円)

科 目			当年度	前年度	増 減
I 資産の部	1. 流動資産	流動資産合計	20,117,515	17,612,447	2,505,068
	2. 固定資産	(1)基本財産	118,710,855	118,843,548	-132,693
		(2)特定資産	10,954,000	10,495,000	459,000
		(3)その他固定資産	1	124,239	-124,238
		固定資産合計	129,664,856	129,462,787	202,069
資産合計	149,782,371	147,075,234	2,707,137		
II 負債の部	1. 流動負債	流動負債合計	1,299,995	143,488	1,156,507
	2. 固定負債	固定負債合計	2,954,000	2,495,000	459,000
		負債合計	4,253,995	2,638,488	1,615,507
III 正味財産の部	1. 指定正味財産	指定正味財産合計	114,907,092	115,038,472	-131,380
		(うち基本財産への充当額)	(114,907,092)	(115,038,472)	-(131,380)
		(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
	2. 一般正味財産	一般正味財産合計	30,621,284	29,398,274	1,223,010
		(うち基本財産への充当額)	(3,803,763)	(3,805,076)	-(1,313)
		(うち特定資産への充当額)	(8,000,000)	(8,000,000)	(0)
正味財産合計	145,528,376	144,436,746	1,091,630		
負債及び正味財産合計	149,782,371	147,075,234	2,707,137		

財産目録

平成28年3月31日現在 (単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産) 現金	手元保管	運転資金として	353,665	
	預金	普通預金	19,540,212	
	郵便振替	ゆうちょ銀行新井支店	223,638	
流動資産合計			20,117,515	
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	第45回変動利付国債(15年)他	118,710,855	
	特定資産	定期預金	中野新井郵便局	2,954,000
		定期預金	三井住友銀行中野支店	5,000,000
	その他固定資産	定期預金	三井住友銀行中野支店	3,000,000
		什器備品	カードプリンタ	1
固定資産合計			129,664,856	
資産合計			149,782,371	
(流動負債) 未払金	社会保険庁に対する未払金	雇用者負担分社会保険料	65,866	
	預り金	有限会社ピーエフパブリシティに対する未払い金	1,168,953	
		社会保険庁に対する支払い分	65,176	
流動負債合計			1,299,995	
(固定負債) 退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	2,954,000	
固定負債合計			2,954,000	
負債合計			4,253,995	
正味財産			145,528,376	

平成27年度正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	360,562	240,375	600,937	687,087	-86,150
② 受取会費	5,574,000	3,716,000	9,290,000	9,300,000	-10,000
③ 受取補助金等	3,664,000	0	3,664,000	3,666,000	-2,000
④ 受取寄附金	18,388,200	12,258,800	30,647,000	27,490,000	3,157,000
⑤ 雑収益	1,858,500	306,670	2,165,170	1,568,357	596,813
経常収益計	29,845,262	16,521,845	46,367,107	42,711,444	3,655,663
(2) 経常費用					
給料手当	4,294,279	2,862,852	7,157,131	7,666,880	-509,749
退職給付費用	275,400	183,600	459,000	498,000	-39,000
法定福利費	612,664	408,442	1,021,106	1,077,407	-56,301
地方研修委託費	16,934,142		16,934,142	18,013,260	-1,079,118
旅費交通費	4,080,390	5,825,130	9,905,520	7,412,233	2,493,287
通信運搬費	675,668	151,263	826,931	1,011,209	-184,278
消耗什器備品費	0	6,112	6,112	0	6,112
減価償却費	124,238	0	124,238	135,534	-11,296
消耗品費	20,763	136,871	157,634	124,386	33,248
印刷製本費	3,065,702	7,776	3,073,478	2,058,033	1,015,445
役務費	329,690	313,200	642,890	545,790	97,100
会議費	1,733,356	1,056,628	2,789,984	1,466,412	1,323,572
顕彰費	220,335		220,335	159,023	61,312
慶弔儀礼費	176,296	120,365	296,661	391,244	-94,583
貸借料	55,570	65,146	120,716	579,405	-458,689
諸謝金	75,000	0	75,000	278,192	-203,192
租税公課	1,850	1,200	3,050	4,100	-1,050
顧問報酬		1,058,400	1,058,400	1,058,400	0
支払手数料	15,850	31,426	47,276	42,031	5,245
諸会費		80,248	80,248	66,402	13,846
事務費	80,547	53,698	134,245	104,325	29,920
雑費	10,000	0	10,000	177,120	-167,120
経常費用計	32,781,740	12,362,357	45,144,097	42,869,386	2,274,711
当期経常増減額	-2,936,478	4,159,488	1,223,010	-157,942	1,380,952
2. 経常外増減の部					
当期一般正味財産増減額	-2,936,478	4,159,488	1,223,010	-157,942	1,380,952
一般正味財産期首残高	-190,389	29,588,663	29,398,274	29,556,216	-157,942
一般正味財産期末残高	-3,126,867	33,748,151	30,621,284	29,398,274	1,223,010
II 指定正味財産増減の部					
1. 指定正味財産増加額	276,333	184,222	460,555	546,705	-86,150
2. 一般正味財産への振替額	355,161	236,774	591,935	678,085	-86,150
当期指定正味財産増減額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
指定正味財産期首残高	69,023,083	46,015,389	115,038,472	115,169,852	-131,380
指定正味財産期末残高	68,944,255	45,962,837	114,907,092	115,038,472	-131,380
III 正味財産期末残高	65,817,388	79,710,988	145,528,376	144,436,746	1,091,630

平成28年度正味財産増減予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	360,000	240,000	600,000	700,000	-100,000
② 受取会費	5,580,000	3,720,000	9,300,000	9,300,000	0
③ 受取補助金等	3,600,000	0	3,600,000	3,700,000	-100,000
④ 受取寄附金	20,790,200	13,526,800	34,317,000	26,200,000	8,117,000
⑤ 雑収益	1,350,000	303,000	1,653,000	1,554,000	99,000
経常収益計	31,680,200	17,789,800	49,470,000	41,454,000	8,016,000
(2) 経常費用					
給料手当	4,493,400	2,995,600	7,489,000	7,000,000	489,000
退職給付費用	343,800	229,200	573,000	485,000	88,000
法定福利費	586,800	391,200	978,000	900,000	78,000
地方研修委託費	25,720,000		25,720,000	17,500,000	8,220,000
旅費交通費	3,340,000	4,630,000	7,970,000	7,360,000	610,000
通信運搬費	870,000	200,000	1,070,000	1,110,000	-40,000
消耗什器備品費	0	10,000	10,000	50,000	-40,000
減価償却費	0		0	124,239	-124,239
消耗品費	131,000	150,000	281,000	160,000	121,000
印刷製本費	4,960,000	1,310,000	6,270,000	4,560,000	1,710,000
役務費	500,000	280,000	780,000	720,000	60,000
会議費	1,490,000	990,000	2,480,000	1,865,000	615,000
顕彰費	200,000		200,000	200,000	0
慶弔儀礼費	170,000	90,000	260,000	270,000	-10,000
賃借料	160,000	40,000	200,000	200,000	0
諸謝金	600,000		600,000	500,000	100,000
租税公課	2,000	1,000	3,000	5,000	-2,000
顧問報酬		1,059,000	1,059,000	1,059,000	0
支払手数料	15,000	35,000	50,000	50,000	0
諸会費		50,000	50,000	20,000	30,000
事務費	80,000	60,000	140,000	180,000	-40,000
雑費	10,000	10,000	20,000	210,000	-190,000
経常費用計	43,672,000	12,531,000	56,203,000	44,528,239	11,674,761
当期経常増減額	-11,991,800	5,258,800	-6,733,000	-3,074,239	-3,658,761
	43,672,000	12,531,000	56,203,000	44,528,239	11,674,761
2. 経常外増減の部					
当期一般正味財産増減額	-11,991,800	5,258,800	-6,733,000	-3,074,239	-3,658,761
一般正味財産期首残高	-5,644,628	31,968,663	26,324,035	29,398,274	-3,074,239
一般正味財産期末残高	-17,636,428	37,227,463	19,591,035	26,324,035	-6,733,000
II 指定正味財産増減の部					
1. 指定正味財産増加額					
2. 一般正味財産への振替額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
当期指定正味財産増減額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
指定正味財産期首残高	68,944,255	45,962,837	114,907,092	115,038,472	-131,380
指定正味財産期末残高	68,865,427	45,910,285	114,775,712	114,907,092	-131,380
III 正味財産期末残高	51,228,999	83,137,748	134,366,747	141,231,127	-6,864,380

公益財団法人JKAの公益資金補助事業

※ 平成二十七年でも平成二十六年と同様に、競輪公益資金補助事業となりました。

一 平成二十七年の競輪公益資金による補助金は、平成二十八年二月二十四日、管区研修会担当事務局に次のとおり送金しました。

札幌管区	三八五、〇八九円(帯広)
仙台管区	四二四、八四〇円(岩手)
東京管区	八二二、五六六円(埼玉)
名古屋管区	四五〇、五二八円(福井)
広島管区	一九三、八九六円(広島)
高松管区	一六九、〇三九円(高知)
福岡管区	五六三、四八四円(長崎)
中 央	三五四、五五八円
総 額	三、三六四、〇〇〇円

東京管区	五五〇、〇〇〇円(東京)
名古屋管区	四五〇、〇〇〇円(岐阜)
広島管区	四九〇、〇〇〇円(岡山)
高松管区	一九〇、〇〇〇円(香川)
福岡管区	五六〇、〇〇〇円(福岡)
中 央	一〇〇、〇〇〇円
総 額	三、三六四、〇〇〇円

三 補助事業として研修会を実施する担当事務局は、証拠書類の処理について「本年四月二二日付け補助事業研修会支出証拠及び研修会事務処理方法について」を参考にしてください。残余の金額は全て減額処理されてしますので注意してください。

四 JKAに報告書を提出するため、研修会終了後は速やかに実施報告書を提出してください。研修会実施証拠写真は必ず日付が入るように設定して全てデジタルカメラで撮影してください。撮影したデータはCD等で関係資料とともに送付するか、電子メールに添付して送付してください。

五 決算書(証拠書類)は研修会終了後速やかに処理し、早めに提出して下さい。JKAに精算払申請書を提出しますが、申請が遅れると完了届が提出できず困った状況になりますので、くれぐれもご留意ください。

札幌管区	五一九、〇〇〇円(旭川)
仙台管区	五〇五、〇〇〇円(福島)

六 平成二十九年の補助金要望書については、各管区連盟を通して関係書類を提出してください。

い。(提出期限は本年八月二二日)

競輪公益資金による補助事業完了のお知らせ

この度平成二十七年の競輪公益資金の補助金を受けて、次の事業を完了いたしました。

記

- 1 事業名
平成二十七年地域社会の安全・安心に資する活動補助事業(教誨師研修会の開催)
- 2 事業の内容
ア 教誨師中央研修会
イ 教誨師管区研修会(全国七か所)
- 3 補助金額 三、三六四、〇〇〇円
- 4 完了年月日 平成二十七年一〇月二八日

あとがき

◆私事ですが、昨年四月から全国教誨師連盟事務局にお世話になり、ようやく一年が経過いたしました。まだまだ、要領が悪くて教誨師の皆様には、ご迷惑ばかりお掛けしておりましたし、お叱りを受けております。昨年一年の間に事務局におきましていろいろな業務をさせていただく中で、教誨師の先生方のご苦勞や宗教教誨活動の重要性に気づかされた次第です。教誨師の皆様の高い志で本当に尊い活動をなされているお姿に、頭の下がる思いでおります。どうぞご健康に留意され、益々のご活躍をお祈りいたしております。今後とも何卒よろしくお祈り申し上げます。
(事務局 佐藤)